幕府での動き

- 3 代将軍[a.]就任(1368)
- →管領**細川頼之**の補佐…義満成人まで
- ・九州探題に[b.]を任命(1370)
- →九州の**懐良親王**などを平定
- [c.] (花の御所) の造営 (1378)
- →細川頼之が失脚 (1379) し、義満が実権を握る

将軍権力の強化:将軍直属の**奉公衆**の設置

- 有力守護の弱体化
- ① 土岐康行の乱 (1389~90)

伊勢・美濃・尾張の守護の土岐氏を討伐

② [e.

(1391)

「六分の一衆」と呼ばれた山名氏の内紛

に介入し、**山名氏清**を討伐

将軍を辞任し、義持に譲る(1395) ------

→出家して**北山殿**に移った後も実権を握る

鎮圧に貢献した 大内氏の勢力拡大

③ [h.

1 (1399)

周防・長門など6か国の守護の大内義弘を討伐

義満没(1408)

- ・4 代将軍[k.
-]が実権を握る
- →管領**畠山満家**の就任
- ·上杉禅秀の乱 (1416~17)

鎌倉公方 [1.] VS 前関東管領 **上杉禅秀**

⇒幕府は持氏を支援して乱を鎮圧

将軍職を義量に譲る (1423) が、実権は握り続けた →義量死去 (1425) …将軍空位で義持が政務を行う 朝廷関係・対外関係

- 義満の公家社会進出
- →二条良基による儀礼の指導

・朝廷の権限吸収

京都の市政権(裁判権や土倉・酒屋役の徴収権など)、 全国の[d.]・棟別銭の徴収権獲得

・官位の上昇

左大臣就任 (1382)

准三后 (太皇太后・皇太后・皇后に次ぐ地位) の宣下 (1383) ⇒足利家の家格を上昇させ、公武に渡る権力を確立

• [f.

(1392)

南朝の後亀山天皇が北朝の後小松天皇に神器を譲渡

義満、[g.]就任 (1395) …すぐ辞任

• [i.] との国交樹立 (正史:祖阿、副使:肥富/1401) ⇒義満が「日本国王源道義」として冊封される

[j.]開始 (1404) …**朝貢貿易**の形式

勘合(日明)貿易の中断 (1411)

• [m.] (1419)

朝鮮が対馬を倭寇の根拠地とみて攻撃 ⇒朝鮮との貿易中断 幕府での動き

朝廷関係・対外関係

- 3 代将軍[a. **足利義満**]就任(1368)
- →管領細川頼之の補佐…義満成人まで
- ・九州探題に[b. **今川了俊**]を任命(1370)
- →九州の**懐良親王**などを平定
- [c. 室町殿] (花の御所) の造営 (1378)
- →細川頼之が失脚 (1379) し、義満が実権を握る

将軍権力の強化:将軍直属の奉公衆の設置

- 有力守護の弱体化
 - ① 土岐康行の乱 (1389~90)

伊勢・美濃・尾張の守護の土岐氏を討伐

② [e. **明徳の乱**] (1391)

「六分の一衆」と呼ばれた山名氏の内紛 に介入し、**山名氏清**を討伐

将軍を辞任し、義持に譲る(1395) -----

→出家して**北山殿**に移った後も実権を握る

鎮圧に貢献した 大内氏の勢力拡大

③ 「h. 応永の乱] (1399) ◆

周防・長門など6か国の守護の大内義弘を討伐

義満没 (1408)

- 4 代将軍[k. **足利義持**]が実権を握る
- →管領**畠山満家**の就任
- ·上杉禅秀の乱 (1416~17)

鎌倉公方 [1. **足利持氏**] VS 前関東管領 **上杉禅秀** ⇒幕府は持氏を支援して乱を鎮圧

将軍職を義量に譲る (1423) が、実権は握り続けた →義量死去 (1425) …将軍空位で義持が政務を行う

- ・義満の公家社会進出
- →二条良基による儀礼の指導

・朝廷の権限吸収

京都の市政権(裁判権や土倉・酒屋役の徴収権など)、 全国の[d. <mark>段銭</mark>]・棟別銭の徴収権獲得

・官位の上昇

左大臣就任 (1382)

准三后 (太皇太后・皇太后・皇后に次ぐ地位) の宣下 (1383) ⇒足利家の家格を上昇させ、公武に渡る権力を確立

▶• [f. **南北朝合一**] (1392)

南朝の後亀山天皇が北朝の後小松天皇に神器を譲渡

義満、[g. 太政大臣]就任 (1395) …すぐ辞任

- [i. 明] との国交樹立 (正史: 祖阿、副使: 肥富/1401) ⇒義満が「日本国王源道義」として冊封される
- [j. <mark>勘合貿易</mark>]開始 (1404) …**朝貢貿易**の形式

勘合(日明)貿易の中断(1411)

・[m. 応永の外寇] (1419)朝鮮が対馬を倭寇の根拠地とみて攻撃⇒朝鮮との貿易中断